

目 次

第1 基本方針

1. 管理計画作成方針	1
2. 管理計画区分方針	1

第2 西表国立公園管理計画区

1. 概要及び管理方針	3
2. 風致景観の管理に関する事項	12
(1) 許可、届出等取扱方針	
(2) 公園事業取扱方針	
3. 地域の開発整備に関する事項	13
(1) 自然公園施設	
(2) 一般公共施設	
4. 国有財産及び事業施設の管理に関する事項	14
(1) ビジターセンター	
(2) 竹富島自然探勝路附帯施設	
(3) 大原詰所	
5. 利用者の指導に関する事項	15
(1) 自然解説に関する事項	
(2) 利用者の規制及び安全対策	
6. 地域の美化修景に関する事項	16
(1) 美化清掃計画	
(2) 修景緑化計画	
7. サンゴ礁保護利用対策に関する事項	17
(1) オニヒトデ駆除対策	
(2) 情報収集体制の整備	
(3) 利用の促進	
8. 特定鳥獣の保護対策に関する事項	18
(1) イリオモテヤマネコ保護対策	
(2) 黒島のウミガメ産卵地の保護対策	
(3) 仲の神島の海鳥類繁殖地の保護対策	
9. 地域住民に対する自然保護思想の普及に関する事項	21
10. その他関連事項	21
(1) 関係団体の指導育成に関する事項	
(2) その他関係資料	

西表国立公園管理計画書

第1 基本方針

1. 管理計画作成方針

西表国立公園は我が国で最も南西にある自然公園であり、小笠原とともに数少ない亞熱帯に属する国立公園であって、学術上貴重な動植物に恵まれるとともに、独特的景観を誇っている。

本国立公園の管理については、西表国立公園計画や審査指針（「国立公園内（普通地域を除く。）における各種行為に関する審査指針について」昭和49年11月20日付環境庁自然保護局長通知）を始めとする各種通達等により行っているが、更に明確で一貫した指導方針の下に、現地の実情に則したきめの細かい管理を行う必要がある。

このため、従来から行ってきた管理の実態の下に本地域の実情に則した管理計画を作成し、現地管理業務の一層の徹底を期すことにより、西表国立公園の適正な保護と利用の推進を図ろうとするものである。

2. 管理計画区区分方針

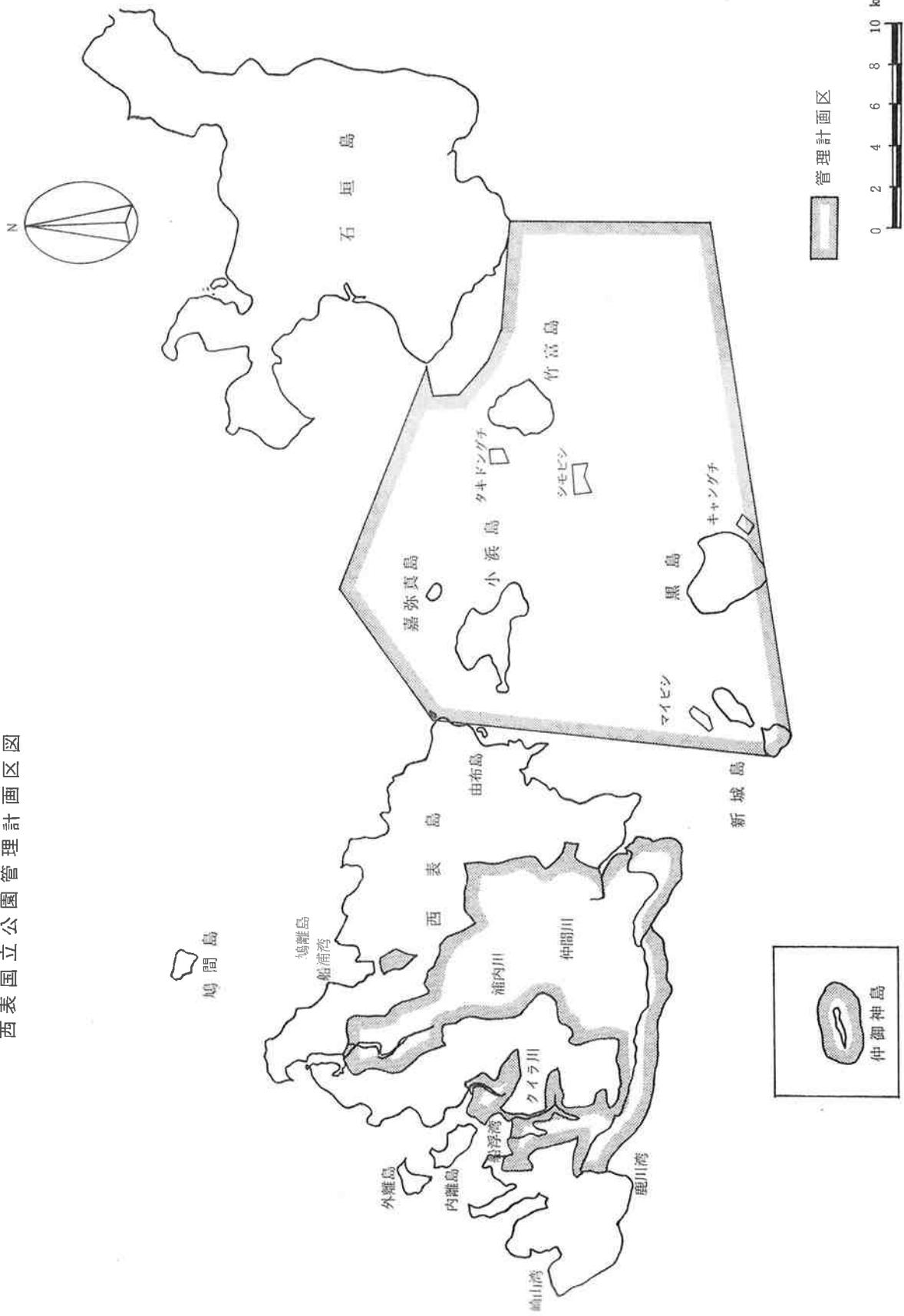
本国立公園は大別すれば西表島地区と石西礁湖地区に区分できる。

西表島地区はシイ、カシ、タブなどの照葉樹林やマングローブ林等、亞熱帯に属する原始性の高い広大な森林を含む西表島と、セグロアジサシ、カツオドリなどの海鳥類の集団繁殖地となっている仲御神島から成り、特別地域に指定されている。

石西礁湖地区は石垣島と西表島の間に点在する竹富島、黒島、小浜島、新城島などの島々とそれらを取り巻く海域から成り、普通地域となっている。竹富島、黒島などにはそれぞれ独自の人文景観や豊かな伝統芸能が保存されている。また、この海域は我が国最大のサンゴ礁地帯となっており、豊富な造礁サンゴ類、熱帯魚などが見られ、この区域内に4地区の海中公園地区が指定されている。

以上のように、本国立公園は2地区に大別されるが、行政的には大部分が1町に包含され、地理的にも近接する比較的小面積の公園であり、その利用形態も石垣島を基地とする日帰り利用や竹富島、西表島、黒島などの民宿等を利用する滞在型の利用が一体的になされているので、西表国立公園全域を1管理計画区とする。

西表国立公園管理計画区図



第2. 西表国立公園管理計画区

1. 概要及び管理方針

(1) 概要

項目	概要
範囲	沖縄県石垣市及び八重山郡竹富町の別添図に示す区域（西表国立公園の全域）。
土地所有等	国有地(国有林)、公有地（町有地）、私有地及び海域公有水面
保護計画	海中公園地区、特別地域、普通地域
利用計画	<p>集団施設地区 1（竹富島集団施設地区、詳細計画未決定）。</p> <p>単独施設</p> <p>園地 7（黒島、小浜島、御座岳、カンピラ滝、ヒナイ滝、西表島西舟付、西表島大富入口）。</p> <p>休憩所 1（大富）。</p> <p>避難小屋 2（テドウ山麓、浦内分岐）。</p> <p>博物展示施設 2（黒島、波照間森山麓、吉見入口、千立入口、浦内川入口、嘉弥真島、新城島）。</p> <p>水泳場 1（南風見田）。</p> <p>運輸施設</p> <p>船舶運送施設 2（小浜島周回線、仲間川線、浦内川線）。</p> <p>係留施設 6（稻葉、浦内川河口、軍鑑岩、仲間川上流、仲間川中流、大富）。</p> <p>道路</p> <p>車道 1（西表縦断線）。</p> <p>歩道 5（西表縦走線、御座岳線、浦内川仲間川線、軍鑑岩船浦線、竹富島周回線）。</p>
自然等の概要	<p>地形・地質</p> <p>1. 西表島地区</p> <p>西表島は主峰古見岳（標高470m）を始めとする標高400m前後の壯年期地形から成り立っており、その大部分が砂岩と頁岩から成る第三紀層である。山稜部は比較的なだらかであるが、</p>

地形・地質	<p>渓谷部は侵蝕により急峻なV字谷となり、主な河川は東西方向に流れている。</p> <p>仲御神島は西表島の南西およそ14kmにあり、第三紀層から成る無人島である。最高部の標高は102mであり、各所に急崖が見られる。</p>
自然等の概要	<p>2. 石西礁湖地区</p> <p>東西25km、南北20kmに及ぶ海域に島々が点在し、裾礁、準堡礁などサンゴ礁の各種の形態を見せており。小浜島は大岳（標高99.4m）をはじめ比較的起伏に富んだ地形から成っており、古生層から沖積層に至る様々の地層が見られる。また、竹富島、黒島、新城島は主として隆起サンゴ礁から成る石灰岩の平坦な地形を有している。</p> <p>1. 西表島地区</p> <p>西表島は大部分がスダシイ、タイワンオガタマノキ、オキナワウラジロガシなどの高木から成る亜熱帯性の照葉樹林に覆われており、ケナガエサカキースダシイ群集、オキナワウラジロガシ群集、マルバシュウカイドウーアカギ群落などに分類されている。林内には、ミナミタニワタリ、リュウキュウセッコクなどの着生植物やツルアダン、ハブカヅラなどのツル性植物その他ヤブレガサウラボシ、ヒカゲヘゴ、コミノクロツグなどの亜熱帯性の特色のある植物が多い。</p> <p>河川沿いの塩沼地にはメヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、マヤブシギ、ヒルギダマシなどから成るマングローブ林やこれに隣接してサガリバナ林、サキシマスオウノキなどの熱帯と共に通な群落が発達している。また、一部尾根筋風衝地にはナタオレノキ—リュウキュウチク群集も見られる。さらに、ヤエヤマヤシの自生地や仲間川及び星立のマングローブ林が国の天然記念物に指定されている。</p> <p>2. 石西礁湖地区</p> <p>隆起サンゴ礁から成る島々には海浜林としてアダン—オオハ</p>

自然等の概要		<p>マボウ群落の他ハテルマギリ群落、ハスノハギリ群落なども見られ、砂浜に向かってクサトベラーモンパノキ群集、グンバイヒルガオ、クロイワザサなどに続いている。</p> <p>また、隆起サンゴ礁から成る岩礁地にはイソマツ、モクビヤッコウ、ミズガンピ等が生育している。</p>
	動 物 (哺乳類)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 西表島地区 <p>特別天然記念物であるイリオモテヤマネコを始めリュウキュウイノシシ等の哺乳類、ヤエヤマオオコモリなどの翼手目類、リュウキュウジャコウネズミ、クマネズミなどの食虫目、齧歯目類等14種が生息しており、このうち在来種は6種類である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 石西礁湖地区 <p>イタチ、カイウサギ、コウモリ類、ネズミ類が生息しているが在来種はヤエヤマオオコウモリ、イシガキキクガシラコウモリの2種のみである。</p>
	(鳥類)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 西表島地区 <p>特殊鳥類に指定されているカンムリワシ、ヨナクニカラスバト、ウスアカヒゲ(以上、国指定天然記念物)、ヤエヤマシロガシラ、我が国では琉球南部にしか生息していないリュウキュウキンバト、オオクヲイ、ムラサキサギなどの他シロハラクイナ、ヒクイナ、ズアカアオバト、アカショウビン等が生息している。また、渡りをしないハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ等は外見は色彩が本土のものとは明らかに異なっており、固有亜種として分けられているものが多い。</p> <p>仲御神島はセグロアジサシ、クロアジサシ、カツオドリ、オオミズナギドリなどの集団繁殖地として重要である。本地区は春秋、渡り鳥の中継地となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 石西礁湖地区 <p>ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロなどの他隆起サンゴ礁の岩礁上にはエリグロアジサシ、セグロアジサシの繁殖が見られる。</p>

自
然
等
の
概
要

(両せい類)	西表島ではわが国唯一のハコガメといわれるセアカルハコガメや
(は虫類)	体長39cmに達する大型のトカゲであるキシノウリトカゲが生息してお
(昆虫類)	り、いずれも国の天然記念物に指定されている。この他、体長が2mを越える大型のヘビであるサキシマスジオ、樹上性のトカゲであるキノボリトカゲや本土では見られないアラヌクガガエル、ハラブチガエル、ヤシガニ、ミナミコメツキガニ等が生息している。
(ウミガメ)	また、国立公園内の各島にはハブより小型で毒性の弱いサキシマハブや声を出して鳴くホオグロヤモリ等が生息している。更に、西表島を始め各島には南方系を主とする多くの蝶類が生息しており、固有種のアサヒナキマダラセセリをはじめシマハチヨウ、オオゴマダラ、ツマベニチョウ、スジグロカバマダラ、リュウキュウアサギマダラ等が見られる。
(魚貝類)	更に、石西礁湖のサンゴ礁海域には、エラブウニヘビなどの猛毒を持つウミヘビ類が生息している。
(造礁サンゴ類 等)	ウミガメの産卵地として西表島ではアカウミガメ、オウミガメ、黒島ではアカウミガメ、タイマイの産卵がそれぞれ確認されている。なお、タイマイの産卵の記録がなされているのは我が国では黒島のみである。
	魚類はおよそ1,300種が生息しているといわれ、代表的なものとしてスズメダイ科、ベラ科、チョウチョウウォオ科、ゾダイ科などの原色のあざやかな色彩に富んだ魚が見られる。また、シャコガイ類、イモガイ類などの貝類、クロナマコ、シカクナマコ、バイカナマコなどのナマコ類、アオヒトデ、クモヒトデ、オニヒトドなどのヒトデ類、シラヒゲウニ、パイズウニなどのウニ類、フトユビジャコ、オキナワアナジャコ、ケブカオオギガニなどの甲殻類等が生息している。
	石西礁湖にはエダミドリイシ、キクメイシ、ノウサンゴ、クサビライシなど68属200種以上の造礁サンゴが分布しており、枝状、テーブル状、塊状など様々な形状と色彩に富んだものが見られ、

自然等の概要	(海草類)	種類数では世界有数である。																																																																														
	その他の事項	<p>また、海浜の1部には有孔虫類の遺骸を含む砂浜があり、星砂と呼ばれている。</p> <p>石西礁湖の1部では大型顯花植物であるウミショウブの群落が見られる。</p>																																																																														
利用の概要	利用者の概況	<p>昭和57年の西表国立公園利用者数は年間延べ170,000人であり、昭和55年の197,000人をピークに減少する傾向を見せている。島別に見ると竹富島への利用者が最も多く全体の約4割を占めており、次いで西表島、小浜島、黒島の順になっている。また、利用期は12月がやや少ないが、ほぼ通年にわたっており、そのうち、3月と7月、8月が特に多い。</p> <p>利用形態は石垣島を基地とする日帰り利用が主体を占めており、各島の民宿等を利用する滞在利用も見られるものの、近年、日帰り利用が増える傾向にあり、今後の対策が必要とされている。</p>																																																																														
利用施設の概要	宿泊施設	<p>島別宿泊収容力</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">民宿</th> <th colspan="2">ホテル・旅館</th> <th colspan="2">合計</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>軒数</th> <th>収容人員</th> <th>軒数</th> <th>収容人員</th> <th>軒数</th> <th>収容人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹富島</td> <td>13</td> <td>471</td> <td>4</td> <td>158</td> <td>17</td> <td>629</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小浜島</td> <td>8</td> <td>204</td> <td>1</td> <td>189</td> <td>9</td> <td>393</td> <td></td> </tr> <tr> <td>黒島</td> <td>5</td> <td>185</td> <td>1</td> <td>41</td> <td>6</td> <td>226</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26</td> <td>860</td> <td>6</td> <td>388</td> <td>32</td> <td>1,248</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西表島 (東部)</td> <td>4</td> <td>124</td> <td>3</td> <td>100</td> <td>7</td> <td>224</td> <td>国立公園区域外</td> </tr> <tr> <td>" (西部)</td> <td>20</td> <td>788</td> <td>4</td> <td>167</td> <td>24</td> <td>955</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24</td> <td>912</td> <td>7</td> <td>267</td> <td>31</td> <td>1,179</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50</td> <td>1,772</td> <td>13</td> <td>655</td> <td>63</td> <td>2,427</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		民宿		ホテル・旅館		合計		備考	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員	竹富島	13	471	4	158	17	629		小浜島	8	204	1	189	9	393		黒島	5	185	1	41	6	226		計	26	860	6	388	32	1,248		西表島 (東部)	4	124	3	100	7	224	国立公園区域外	" (西部)	20	788	4	167	24	955	"	計	24	912	7	267	31	1,179		合計	50	1,772	13	655	63	2,427	
	民宿			ホテル・旅館		合計		備考																																																																								
	軒数	収容人員	軒数	収容人員	軒数	収容人員																																																																										
竹富島	13	471	4	158	17	629																																																																										
小浜島	8	204	1	189	9	393																																																																										
黒島	5	185	1	41	6	226																																																																										
計	26	860	6	388	32	1,248																																																																										
西表島 (東部)	4	124	3	100	7	224	国立公園区域外																																																																									
" (西部)	20	788	4	167	24	955	"																																																																									
計	24	912	7	267	31	1,179																																																																										
合計	50	1,772	13	655	63	2,427																																																																										

利 用 施 設 の 概 要	教化・管 理 施 設	竹富島ビジターセンター（R C造り平屋建243m ² ） 黒島ビジターセンター（R C造り平家建166m ² ） 西表国立公園管理事務所大原詰所（事務所兼中庫、R C造り52m ² ）
	園 地	竹富島東桟橋園地、コンドイ園地、黒島桟橋園地、小浜島桟橋園地、 小浜島大岳園地、西表島西舟付園地、西表島大富入川園地
	水 泳 場	南風見田水泳場
	歩 道	西表縦走線歩道、浦内川仲間川線歩道、御座岳線歩道、 竹富島自然研究路
	運輸施設	浦内川観光船、仲間川観光船、竹富島遊覧施設（マイクロバス、水牛車）、小浜島遊覧施設（マイクロバス、水牛車）、西表島定期観光バス、クイラ川遊覧施設（グラスボート）、竹富島グラスボート、小浜島グラスボート 離島航路 石垣—竹富島、石垣—黒島、石垣—小浜島 石垣—西表島（大原）、石垣—西表島（船浦）

(2) 管理方針

地区名	保護対象	公園計画		基本方針		他法令関係
		公園保護計画	利用計画	地域 (普通地域 (海面))	休憩所 避難小屋	
西表島 瀧	<p>1. 垂熱帯性照葉樹林及び漏谷の地形、 ○ケナガエサカキースダシイ群集 ○オキナワラジロガシ群集 ○マルヤマシュウカイドウーアカギ群落</p> <p>2. 貴重な動植物 ○イリオモテヤマネコ(特別天然記念物) ○カンムリワシ(特殊鳥類、特別天然記念物) ○ヨナクニカラスバト(特殊鳥類、天然記念物) ○ウスアカヒゲ(特殊鳥類、天然記念物) ○ヤエヤマシロガラシ(特殊鳥類) ○リュウキュウキンバト(天然記念物) ○セマルハコガメ(") ○キシノウエトカゲ(") ○ウブンドルのヤエヤマヤシ群落(") ○仲間川天然保護区域(") ○星立天然保護区域(") ○マンダロープ林</p>	博物展示施設 水泳場	船舶運送施設 係留施設	道 車	道 歩	<p>文化財保護法 森林法 鳥獣保護及狩猟ニ関する法律 スル法律 特殊鳥類の譲渡等の規制に関する法律</p> <p>1. 垂熱帯性照葉樹林等の貴重な植物群落の保護を図るものとする。</p> <p>2. 学術研究上貴重である野生動物及びその生息地の保護を図る。このことは公園管理上も重要である。</p> <p>3. 自然に親しみ、自然の理解を深めるための施設の整備を行い、自然解説事業を推進する。</p> <p>4. 地域住民等に対する自然保护思想の普及に努める。</p>

○サガリバナ群落、サキシマスオウノキ
○リュウキュウコクタンーフクギ群落
○ナタオレノキーリュウキュウウチク群集

仲御神島	仲の神島海鳥繁殖地 (国設鳥獣保護区、特別保護地区) (天然記念物)	特別地域 普通地域 (海面)	1. 海鳥類の集団繁殖地として 保護を図る。 2. 観察、調査等により状況の 把握に努める。	鳥獣保護及狩猟二関 スル法律 文化財保護法
竹富島	1. 人文景観及び自然海岸 ○伝統的民家集落 ・整然と並んだサンゴの石垣 ・琉球瓦を用いた赤瓦屋根 ・ヒンパン、シーサー ・フクギの防風林 ○御嶽 ○自然海浜及び海岸林 2. 伝統芸能文化 ○八重山の歌と踊り ○織物（ミンサー織、八重山上布、芭蕉布）	普通地域 集団施設地区 歩道	1. 情緒豊かな人文景観、伝統 芸能の維持及び自然海岸の保 護を図る。 2. 周辺海浜をフィールドとする 自然解説事業を行い、適切 な公園利用の推進を図る。	文化財保護法
黒島	1. 人文景観及び自然海岸 2. 伝統芸能文化 3. ウミガメの産卵地 ○アカウミガメ	普通地域 博物展示施設 園地	1. 情緒豊かな人文景観、伝統 芸能の維持及び自然海岸の保 護を図る。 2. 周辺海浜をフィールドとする 自然解説事業を行い、適切	

○タイマイ

				な公園利用の推進を図る。 3. 貴重なウミガメの産卵地である西の浜の保護を図る。
小浜島	1. サンゴ礁島嶼 2. 伝統芸能文化、魚垣	普通地域	園地 船舶運送施設	サンゴ礁島嶼景観の維持に努める。
嘉弥真島	サンゴ礁島嶼	普通地域	博物展示施設	サンゴ礁島嶼景観の維持に努める。
新城島	サンゴ礁島嶼	普通地域	博物展示施設	サンゴ礁島嶼景観の維持に努める。
石西礁湖 (海域)	1. 海中公園地区のサンゴ礁景観 2. その他サンゴ礁海域の海中景観	海中公園 地 普通地域 (海面)		1. サンゴ礁、生物群集の保護を図り、サンゴ礁海中景観の維持に努める。 2. 自然教育を目的とする自然のフィールドとして積極的な活用を図る。 3. 観察、調査の徹底、関係機関等との連絡の緊密化により状況の把握に努める。

2. 風致景観の管理に関する事項

(1) 許可、届出等取扱方針

ア、西表島の亜熱帯性照葉樹林等の保護を図るため、公園計画に基づく施設、管理上又は学術研究上必要と認められる施設並びに農業その他の地域住民の生活上必要と認められる施設以外は、原則としてその設置を許可しないものとする。

イ、仲御神島の海鳥類の集団繁殖地の保護を図るため、管理上又は学術研究上必要と認められる施設以外は、原則としてその設置を許可しないものとする。

ウ、竹富島、黒島、小浜島におけるサンゴ石垣、琉球瓦屋根、ヒンパン、フクギの防風林、御嶽などに代表される人文景観及び自然海岸の保護を図るため、次の方針で指導を行う。

(ア) 工作物の新築等

- 石垣の新築及び増改築に当たっては、サンゴ石積とすること。
- 屋根は琉球瓦葺とすること。
- 屋根の高さは2階建までとすること。
- 郷土樹木、熱帯花木などによる修景緑化を行うこと。

(イ) 人工護岸の新設は原則として認めない。

(ウ) 汚水の海への直接排水は認めない。

エ、黒島西の浜の国際的に絶滅の恐れのある種とされ、また、学術上も貴重であるウミガメ（アカウミガメ及びタイマイ）の産卵地の保護を図るため、人工護岸その他の工作物の設置は、原則として認めないものとする。

オ、各島における土地改良事業（農用地開発、農業構造改善、牧野改良、圃場整備）の実施に際して、赤土の流出防止等を図るため、次の方針で指導を行う。

(ア) 小川、小さな谷等、小さな自然の地形や植生を残すよう、計画に当たってきめの細かい配慮を行うこと。

(イ) 残土処理については、土捨場の選定、土砂の流失防止に十分留意するとともに、緑化を行うこと。

(ウ) 排水溝、沈砂池等を設けること。ただし、素堀排水溝は認めないものとする。

(2) 公園事業取扱方針

ア、施設のデザイン、建築材料、修景植栽などについては、地域の人文景観と調和するよう特に次の点に留意するものとする。

(ア) 石垣の新築、復旧に当たっては、サンゴ石積とすること。

(イ) 屋根は原則として琉球瓦葺とすること。

(ウ) 修景緑化に当たっては、郷土樹木等を使用すること。

イ、地域の特殊性を考慮し、施設の維持及び管理運営の万全を図るため、管理方法、組織予算について事前に計画書を提出させ、指導を徹底する。

3. 地域の開発、整備に関する事項

(1) 自然公園施設

ア、西表島

原始性の高い亜熱帯性照葉樹林や熱帯性のマングローブ林に覆われており、本土とは異なる貴重な動植物に恵まれている。利用は主として舟遊又は徒歩による自然探勝が行われており、このための利用施設として棧橋、自然研究路、西表縦走線歩道をはじめ、仲間川流域には自然休養林の事業として国有林當局により展望台、自然植物園等が整備されている。

今後は、これらの施設の適切な維持管理、更新を図るとともに、自然に親しみ、自然の理解を深めるための施設としてビジターセンター等の解説、教化施設の拡充や避難小屋、指導標、便所等利用者の安全及び利便を確保するための施設整備を行う必要がある。

イ、竹富島

西表国立公園の利用の中心地として集団施設地区に指定され、海水浴、スノーケリング、ダイビング、島めぐり等の利用が行われている。このための利用施設としてビジターセンターをはじめ園地、自然探勝路が整備されている。.

今後は、これらの施設の適切な維持管理を行うとともに、質的向上を目指した更新を図る。

ウ、黒島

西表国立公園の利用拠点としてサンゴ礁を主とする海の自然環境に恵まれており、海水浴、スノーケリング、ダイビング、島めぐり等の利用が行われている。このための利用施設としてビジターセンター及び園地が整備されている。また、財団法人海中公園センター八重山海中公園研究所が設置されている。

今後は、これらの施設の適切な維持管理を行うとともに、園地の拡充整備を行う必要がある。

エ、その他の島嶼

海洋利用が主であるが、小浜島以外は定期船の運航が行われていないこともあり、利用は少ない。小浜島に園地が整備されている。

今後は、既存施設の適切な維持管理を行うとともに、整備計画の再検討を行う必要がある。

(2) 一般公共事業

ア、普通地域内において港湾整備、道路改良及び土地改良の各事業が行われており、また、特別地域内における土地改良事業が予定されているので、次の取扱方針により指導等を行う。

(ア) 工事に伴う赤土流出による海水汚濁防止対策、残土処理方法、修景綠化計画等について適切な事前指導を行う。

(イ) 事前にその内容を把握するため、沖縄総合事務局、沖縄県土木部及び農林水産部、石垣市、竹富町を対象にヒアリングを行い、事前調整の徹底を図る。
イ、西表横断道路（車道）については、現時点では指定当初に比べて必要性に乏しく、原始性の高い亜熱帯性照葉樹林を分断することによる動植物への悪影響、土砂流出などによる自然破壊等が予想されるので、今後、慎重な再検討を行う必要がある。

ただし、既設部分のうち、仲間川自然休養林に到る部分については、現在、沖縄営林署により巡視歩道としての管理が行われているが、周辺を利用するための公園車道としての必要性及び効果が認められるので、今後、維持管理の方法等について、沖縄営林署、沖縄県、竹富町等の関係者により検討を進める必要がある。

4. 国有財産及び事業施設に関する事項

(1) ビジターセンター

竹富島及び黒島に、それぞれ直轄事業によりビジターセンターが整備され、建物等の維持補修をはじめ、自然に親しむ運動の一環として海の自然教室の開催、パンフレットの作成、配付等の活動を通じて適切な自然公園利用の推進と自然保護思想の普及を図るための中心施設として有効活用を図っている。また、これらの施設の管理運営の万全を図るため、沖縄県、竹富町、地元公民館等を構成メンバーとする運営協議会を設置して緊密な連絡をとりつつ、協力を得てきた。

今後とも、これらの施設の適切な点検、管理を行うとともに、必要な更新を図る。

(2) 竹富島自然探勝路附帯施設

自然探勝路附帯施設として指導標、解説板等が整備され、自然探勝利用に供されている。

今後とも、これらの施設の適切な点検、管理を行うとともに、必要な更新を図る。

(3) 大原詰所

西表国立公園の前線基地として詰所の有効な活用を図るとともに、台風等による災害を防止するため、施設の適切な点検、管理を行う。

5. 利用者の指導に関する事項

(1) 自然解説に関する事項

ア、西表国立公園においては、その自然的特質から「自然の教室」としての自然公園本来の意味を積極的に機能させることが重要である。このため、地元公民館、(財)海中公園センター八重山海中公園研究所等の協力を得て、自然に親しむ運動の一環として竹富島ビジターセンター及び黒島ビジターセンターを基地として周辺海浜をフィールドとする『海の自然教室』や『マリン・スクール』を開催して、スノーケリング技術の講習を通じてサンゴや熱帯魚などの海の生物の観察等により自然保護の理解を深め、また、民謡や踊りを通じて独特の芸能文化に接し、島に住む人々の生活と文化に理解と親しみを深めるための活動を行ってきた。また、その他、西表島の船浦地区等においても、地元の小中学生を対象として『海の自然教室』を開催し、子供達に対する自然解説を通じて地域とのつながりを深めるための活動を行ってきた。

今後とも関係機関等との協力体制を維持しつつ、これらの行事や活動を拡充するとともに、ビジターセンターの展示の充実、パンフレットの作成、船会社等に対する情報の提供を行う。

イ、西表島においては、「自然教室」として恵まれた特質を有効に活用するため、補助事業により自然探勝歩道の整備等を行ってきたが、これらの施設の適切な点検、補修を行うとともに、本地区利用の中心となる解説、教化施設の整備を行い、これを拠点として自然解説事業を積極的に進めて行く必要がある。

(2) 利用者の規制及び安全対策

ア、仲御神島においては、海鳥類の集団繁殖地としての保護を図るためコロニーの攪乱をまねく、釣客ダイバー等が上陸又は立ち入りをしないよう、民宿等関係方面に対して指導を徹底する。

イ、『海の自然教室』の実施に当たっては、水難事故を引き起こさないよう十分な監視及び救助体制をとるものとする。また、海水浴等による水難事故防止のため、海況、事故発生状況について情報収集に努めるとともに、警察、地元消防団、民宿等との連絡の緊密化を図る。

ウ、西表縦走登山者の道迷い、緊急事態の発生等に対処するため、指導標の点検、修理等に努めるとともに宮林署担当区等との連絡を密にする。また、今後、登山計画の一助となるセルフガイドの作成、避難小屋の整備等を行う必要がある。

6. 地域の美化、修景に関する事項

(1) 美化清掃計画

ア、「清掃活動費補助金」による事業として地元清掃団体である「西表国立公園を美しく会」が240万円の事業費により竹富島、黒島、小浜島、西表島（浦内川、仲間川、南風見田海岸）を拠点として清掃活動を行っている。

今後は、日常的なゴミ処理について責任者の明確化、現場でのゴミ処理計画、実施結果の報告等について、きめの細かい指導監督を行う。

イ、ゴミ籠の設置状況について点検を行い、不要なものを撤去し適正配置を行うよう設置者に対して指導を行う。また、ゴミ持ち帰り運動のより一層の徹底を図るため、ゴミ持ち帰り看板の設置等により一般利用者に対する趣旨の徹底を行うとともに、交通機関等に対して普及協力を呼びかける。

ウ、自然公園クリーンデーを始め環境週間、環境衛生週間、観光週間等の機会を通じてボランティア等による清掃活動の実施、ゴミ持ち帰りの呼びかけ等を行う。

(2) 修景緑化計画

道路整備、土地改良、建物の新築、園地整備等の工事に当たっては、極力、下記の郷土樹木、熱帯花木等による修景緑化を行うよう指導する。

ア、緑陰：テリハボク（ヤラボウ）、モモタマナ（クバデーサー）、ガジュマ

ル、アコウ、オオバアコウ、ハスノハギリ等
イ、防風目隠し：フクギ、イヌマキ等
ウ、その他修景：ハイビスカス類、ヒメフヨウ、ブーゲンビレア類、ムラサキソ
シンカ、デイゴ類、クロトン類、サンダンカ類、モダマ、オオバナアリアケカ
ズラ、ベンガルヤハズカズラ、ヒハツモドキ、ヤシ類、ハマユウ等
エ、法面緑化：コウライシバ、ギョウギシバ、セントオーガスチン等

7. サンゴ礁の保護、利用対策に関する事項

わが国最大のサンゴ礁地帯として優れた海中景観に恵まれるとともに、海の自然教室として豊かな教材が所在しているので、これらの保護及び利用の推進を図ることが重要であり、次のような対策を推進する。

(1) オニヒトデの駆除対策

昭和48年の大発生に伴い、国立公園区域内の造礁サンゴにも大きな被害を受けた。このため、関係機関によるオニヒトデ駆除対策連絡協議会を設置して連絡の緊密化を図るとともに、環境庁の補助により沖縄県が事業主体となって駆除事業を実施しているが、被害区域は拡散する傾向にある。

今後は、関係機関との緊密な連絡をとりつつ、現状把握に努め、沖縄県及び委託先である八重山漁業協同組合に対して適切な指示、指導を行うとともに、拠点駆除に重点を置いた効率的なオニヒトデ駆除事業を推進する必要がある。また、手もりによる駆除方法に加え、注射器を用いた駆除方法等の有効な手法を検討する必要がある。

(2) 情報収集体制の整備

サンゴ礁生物群集の保護を図るため、オニヒトデの生息状況、サンゴ白化現象、陸上の環境変化とサンゴ礁生物群集への影響について監視を強化して現地における日常的な観察、巡視を計画的に行うとともに、下記の関係機関等との情報交換の緊密化を図り、現状の把握に努める。

また、サンゴの白化現象については、異常に高い海水温の影響により共生藻が離脱した結果、引き起こされるものと推測されているが、資料不足のため不明な点が多い。今後は、情報の把握に努めるとともに、（財）海中公園センター八重山海中公園研究所等と協力して安点におけるモニタリングを行うことが必要である。
・琉球大学理学部生物学科、海洋学科及び琉球大学熱帯海洋科学センター

- 東海大学沖縄地域研究センター
- (財) 海中公園センター八重山海中公園研究所
- 沖縄県水産試験場八重山支場
- 石垣地方気象台
- 八重山漁業協同組合

(3) 利用の促進

自然教育を主目的とする自然のフィールドとして、これらのサンゴ礁海域の積極的な活用を図り、適切な自然公園利用の推進と自然保護思想の普及に資するため今後は海の自然教室、マリン・スクール等の行事を始め、これらの自然教育のリーダーを養成するための研修会等を開催する。

8. 特定鳥獣の保護対策に関する事項

(1) イリオモテヤマネコの保護対策

西表島における鳥獣保護行政の重要性及び緊急性にかんがみ、西表国立公園管理事務所においては、自然保護局長の特命を受けて、イリオモテヤマネコの保護増殖に関する業務を行っている。

ア、第1次調査研究及びその結果

環境庁はイリオモテヤマネコの生態、その生息環境及び被食動物の生息状況などを明らかにし、有効な保護対策を考察するため、昭和49年度から3ヶ年にわたり、日本野生動物研究会会長 今泉吉典（現職、日本哺乳動物学会会長）に委嘱して、「イリオモテヤマネコの生態及び保護に関する研究」を実施した。その結果、イリオモテヤマネコはわずか30頭～40頭しか生息していないと推定されたこと、また、イリオモテヤマネコの行動圏は他種のヤマコネのそれに比べて異常に広くなっている、これは重要な被食動物の現存量が少いためで、その密度が高まれば行動圏は狭くてすみ、ヤマネコの個体数が増加する等の見解が示された。

イ、給餌の理由及びその実施状況

第1次調査研究結果及び専門家による増殖技術検討会の意見を下に、環境庁は人為的に餌を供給することによって、イリオモテヤマネコの生息数増加の制限因子となっている被食動物の現存量を補い、同一面積により多くの個体の生息を可能にし、保護増殖に役立てるため、昭和54年秋からイリオモテヤマネコ

の給餌事業を実施している。

当初、6ヶ所の給餌ポイントでスタートしたが、現在は10ヶ所（西表島西部5ヶ所、東部5ヶ所）に増えており、3日に1度、生きたニワトリを置くことを主な内容として、当事務所が業務の指導、監督に当たっている。ニワトリの被食率は日々向上しており、現在は平均で約80%となっている。また、比較的例の豊富な6月中旬から8月末までは給餌を休止している。

ウ、第2次調査研究及び今後の方針

第1次調査研究に加え、行動、食性等について更に詳細な資料を得て、必要な保護増殖事業を推進するため、環境庁は昭和57年度からの3ヶ年計画で財團法人世界野生生物基金日本委員会に委託して「イリオモテヤマネコ生息環境等保全対策調査」を実施している。現地における調査は、池原貞雄琉球大学名誉教授、小野勇一九州大学教授を中心メンバーとして給餌ポイントでの直接観察、発信機装着によるテレメトリー調査、痕跡調査等が行われている。この調査で現在までに確認されたイリオモテヤマネコの個体は、発信機装着のために捕獲された12個体（うち雌3個体）を含め17個体となっている。今後、昭和59年度の最終調査報告をもとに、検討、考察を行い、国設鳥獣保護区の設定等イリオモテヤマネコの適切な保護対策を講じる必要がある。

エ、その他現場の課題と対応方針

(ア) 農家のニワトリ被害対策

昭和57年1月～2月に西表島美原地区で被害が発生し、その後、被害報告はなかったが、昭和58年9月～12月に、上原地区において4回にわたり被害が発生した。たまたま、ニワトリに被害を与えたイリオモテヤマネコが環境庁が調査を実施中の発信機を取りつけた個体であることが確認されたことにもより、地域住民の間で問題となった。このため、関係機関と打合せのうえ、調査事業の一環としてこの個体を捕獲し、西表島東部の南風見田給餌ポイントに放逐した。イリオモテヤマネコの生息状況及び行動の状況から今後とも被害の発生が予想され、これを契機として地域住民との間に感情的なトラブルが生じることにより、今後の国立公園の管理運営や鳥獣保護行政の円滑な推進を図るうえで支障となる恐れがある。

今後は調査担当の調査員、現地給餌員、ヤマネコ研究者、地元文化財保護委員、地元公民館長等との緊密な連絡のもとに早期の情報の把握に努めるととも

に、地域住民に対しイリオモテヤマネコの保護の必要性、調査結果の説明、ニワトリ小屋の整備依頼等の普及啓蒙活動を行う。

また、今後とも家禽に被害を与える個体、衰弱個体、交通事故にあった個体等捕獲、収容、移動その他の処置を早期に、且つ適切に行う必要を生じることが予想されるので、このような事態に対処するため、予め関係機関と協議のうえ、基本方針や処理体制を明確にしておく必要がある。

(イ) 交通事故対策

西表島北岸道路の開通に伴い、昭和53年6月以来、車によるイリオモテヤマネコの事故死はすでに4件（4個体）となり、憂慮すべき状況にある。

今後は事故死の状況を十分検討するとともに、沖縄県土木部、沖縄県教育委員会、竹富町教育委員会等と緊密な連絡をとりつつ、道路標識の設置、広報誌、マスコミによる注意の呼びかけ等を行うよう協力を求める。

(ウ) その他、イリオモテヤマネコに対する野イヌや野ネコによる悪影響が懸念されるので野イヌ化、野ネコ化防止対策を徹底するよう保健所等の関係機関との連絡を密にする。

(2) 黒島のウミガメ産卵地の保護対策及びウミガメの情報収集

黒島西の浜はアカウミガメ及びタイマイの産卵地となっている。ことにタイマイの産卵地としてはこれまでに我が国で確認された唯一の場所であり、学術上も極めて重要である。このため、次の方針でその保護を図る。

ア、西の浜においては護岸その他の工作物の設置を認めない方針で指導を行う。

イ、現在、保護計画上普通地域であるので保護を強化する方針で検討を行う。

ウ、文化財関係機関に対する情報の提供等、連絡を密にする。

エ、沖縄県漁業調整規則の主管部である沖縄県農林水産部に対する情報の提供等、連絡を密にする。

また、今後は西表島、新城島等の海浜におけるウミガメの産卵の状況等について、情報の収集に努める。

(3) 仲御神島の海鳥類繁殖地の保護対策

仲御神島はカツオドリ、クロアジサシ等の海鳥類の集団繁殖地として国設鳥獣保護区の特別保護地区に指定されており、また、国指定の天然記念物に指定されているので、次の方針でその保護を図る。

ア、管理上又は学術研究上必要と認められる施設以外は、原則としてその設置を

許可しない。

イ、釣客、ダイバーの増加によるコロニーの搅乱を防止するため、原則として、これらの利用者が上陸又は立ち入りをしないよう、民宿等関係方面へ周知徹底を図る。

1. 地域住民等に対する自然保護思想の普及に関する事項

離島における厳しい生活環境の下で住民の多くが地域開発を志向しており、自然保護に対しては、これらの開発が制限されることへの不安から消極的な意見が支配的であった。

その後、地域住民に対する普及活動等により、住民の自然保護に対する関心と理解は徐々に深まってきたが、今後とも自然保護行政に関する関連諸制度や施策等について総合的、体系的な理解を得ることが必要である。また、西表国立公園の円滑な管理及び適切な鳥獣保護行政を推進するためには、地域住民の理解と協力を得ることが極めて重要であり、今後とも次の方針で自然保護思想の普及啓蒙に努める。

- (1) 自然に親しむ運動、自然公園クリーンデーその他全ゆる機会を通じて自然保護について総合的、体系的な施策や情報の説明、提供を行うとともに、パンフレット、チラシの作成、配付等を行う。
- (2) イリオモテヤマネコ生態調査結果等について、研究者等の協力のもとに、地元公民館等において説明、報告を行い、理解と協力を求める。
- (3) 地元小、中学生を対象とする海の自然教室等を開催し、学校を通じて子供達への啓蒙を図りつつ、地域との連携を密にする。
- (4) 自然公園指導員、自然保護監視員、文化財保護委員、地元野鳥保護団体、ヤマネコ研究者等との連絡協調体制を密にするとともに研修会等により地域に根ざした自然保護のリーダーを養成する必要がある。
- (5) 竹富島ビジターセンター及び黒島ビジターセンターの有効な活用を図るとともに、自然保護思想の普及啓蒙を図るための中心施設として、西表島にビジターセンターを整備する必要がある。

10. その他関連事項

- (1) 関係団体の指導、育成に関する事項
ア、西表国立公園を美しくする会

「清掃活動費補助金」による事業の地元清掃団体であるが、その活動状況は十分とは言えない。

今後は、日常的なゴミ処理の徹底、ゴミ籠の適正配置、ゴミ持ち帰り運動の積極的な推進等について、きめの細かい指導、監督を行う。

イ、西表国立公園黒島ビジターセンター運営協議会

黒島ビジターセンターの円滑な管理運営を推進するため、連絡の緊密化、意見交換等を行うことを目的として関係機関等を構成メンバーとして設置されたものである。

今後は、同運営協議会を十分機能させるとともに、西表国立公園全域における公園事業施設の円滑な管理運営を推進するため、より発展的な運営協議会として拡充する必要がある。

(2) その他関係資料

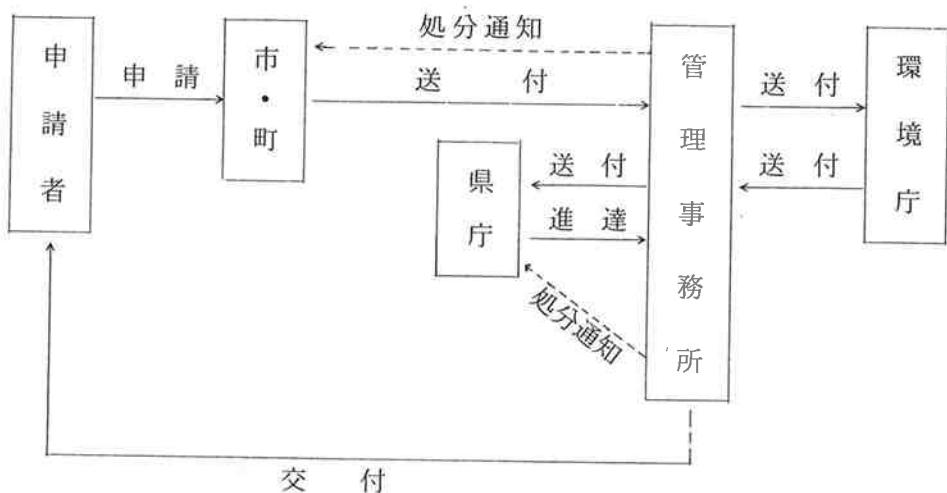
別添1 申請書の進達及び指令書の交付ルート並びに許認可等処理状況

- 〃 2 自然公園施設整備 5ヶ年計画（昭和56年度～昭和60年度）
- 〃 3 直轄又は補助等による自然公園施設整備状況
- 〃 4 公共団体等による施設整備状況
- 〃 5 西表国立公園利用者数
- 〃 6 自然に親しむ運動等実施状況
- 〃 7 「清掃活動費補助金」による清掃活動実施状況
- 〃 8 オニヒトデ駆除実績
- 〃 9 イリオモテヤマネコ給餌状況
- 〃 10 イリオモテヤマネコの事故状況
- 〃 11 関係行政機関等
- 〃 12 西表国立公園内における貴重な動植物一覧

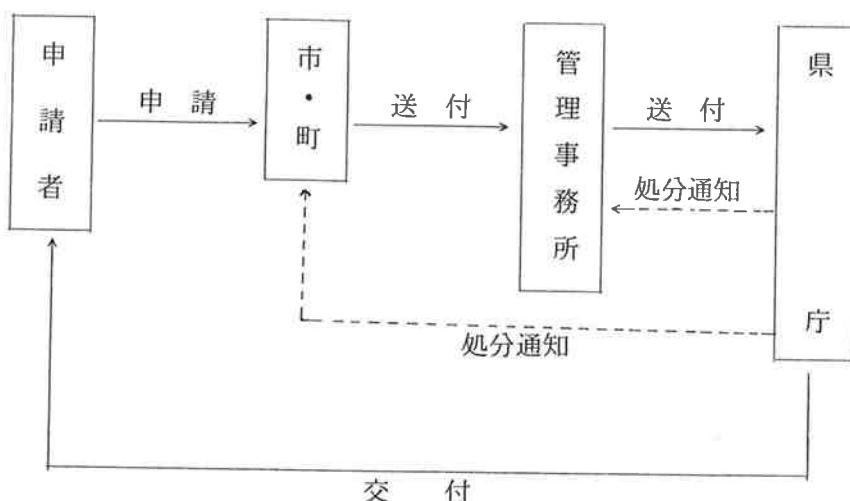
別添1-(1)

申請書の進達及び指令書の交付ルート

1. 長官権限



2. 知事権限



許認可等処理状況

別添1-(2)

年度 年 度	特 別 地 域 (行 為 許 可)	普 通 地 域 內				公 園 事 業				合 計				
		(届 出)		長 官 所 長		長 官 所 長		官 員 限		所 長		先 決		
		長 官 所 長	知 事 小 計	長 官 所 長	知 事 小 計	長 官 所 長	知 事 小 計	認 可 認 可 變 更	承 認 承 認 變 更	同 意 同 意 變 更	同 意 同 意 變 更	認 可 變 更	承 認 變 更	
49					1	1							1	
50					1	1			2		2		3	
51		1	1						1		1		2	
52	1	1	(届出)	2			1		2		3		5	
53		2	2	1			1		1		1		4	
54		1	(協議)	1					1		1		2	
55		1	(協議)	1	2	2	2	4		1	3	4	10	
56				1	1		5	5		1	1	2	1	
57							5	5		2		2	7	
合計	1	2	(協議)	6	(届出)	9	3	0	14	17	1	0	16	0
											3	0	1	1
											0	0	1	43

別添 2

自然公園施設整備 5ヶ年計画(昭和56年度～昭和60年度)

年度	名 称	整 備 内 容	備 考
56	西表縦走線(歩道)	歩道 11.7 km、休憩所20m ²	整備済み
57	御座岳線(歩道)	歩道 4.0 km	整備済み
58	黒島博物展示施設 星砂海水浴場	黒島ビジターセンター 300 m ² 休憩所20m ² 、公衆便所20m ²	建物及び展示…57年度 整備 周辺整備…58～59年度 予定 西表国立公園区域外
59	ヒナイ滝歩道 ヒナイ滝園地	歩道 5.0 km 園地 500 m ²	西表国立公園区域外 “
60	租納博物展示施設 租納園地 星立海水浴場	博物展示 300 m ² 園地 1,700 m ² 歩道 0.5 km、休憩所30m ² 、公衆便所10m ²	西表国立公園区域外 “ “

別添3 直轄又は補助等による自然公園施設整備状況

1. 直轄等

年度	施設名	場所	事業費	事業主体	施設の概要
50	ビジャーセンター (建物)	竹富島	千円 48,908	国	R C 平屋 243m ² 、サイト造園 628m ² (51年度へ繰越)
51	自然探勝路	竹富島	14,500	国	L = 1,000m、W = 1.5m、標識、解説板 25基、指導標11基 (52年度へ繰越)
	ビジャーセンター (展示)	"	4,790	国、県	2面マルチスライド、カラーコルトン、 写真パネル
52	ビジャーセンター (展示)	"	7,200	町	サンゴジオラマ、サンゴ、貝標本
55	管理事務所附帯施設 (大原詰所)	西表島	10,000	国	事務所兼車庫 52m ² 敷地面積 384m ²
57	ビジャーセンター (展示)	黒島	40,550 8,000	国 県	R C 平屋 166m ² カラーコルトン、パネル、サンゴ標本等

2. 補助

年度	施設名	場所	事業費	事業主体	施設の概要
50	東棧橋園地	竹富島	千円 11,862	県	休憩舎32m ² 、便所21m ² 、サイト造園 2,254 m ² (繰越)
51	コンドイ園地	竹富島	13,000	県	休憩舎30m ² 、シャワー室、便所30m ² サイト造園 970m ²
52	黒島棧橋園地	黒島	29,272	県	休憩舎30m ² 、シャワー室、便所30m ² サイト造園 2,030m ²
	小浜島棧橋園地	小浜島		県	休憩舎30m ² 、シャワー室、便所30m ² サイト造園 1,320m ²
53	浦内川自然研究路	西表島	18,298	県	L = 3,000m、W = 1.5m、標識、解説 板10基、指導標、制札19基、擬木歩道橋7 基、擬木テーブル、椅子、階段
54	小浜島大岳園地	小浜島	21,400	県	園路 L = 1,000m、W = 1.5m、休憩舎 20m ² 、便所10m ² 、標識、指導標9基 サイト造園 890m ²
55	南風見田水泳場	西表島	20,200	県	休憩所兼便所36m ² 、サイト造園 477m ² シャワー、標示板
56	西表縦走線歩道 浦内川仲間川線歩道	西表島	8,600	県	展望休憩舎20m ² 、指導標20基
57	コザ岳線歩道 仲間川上流棧橋	西表島	12,000	県	棧橋21m ² 、園地 500m ² 指導標 7基

別添4 公共団体等による施設整備状況

他 省 庁 事 業						
年度	施 設 名	場 所	事業費	事業主体	施 設 の 概 要	
55	仲間川中流係留施設	西表島	千円 50	沖縄営林署	桟橋 (1.6 m × 2.8 m)	
"	大富入口園地	"	1,343	"	園路 L = 589 m、W = 1.3 m 入口標識 1 基 案内板 1 基 指導標 6 基 ベンチ 5 基 樹名板 300 枚 休憩所 9 m ² 説明板 1 基	
"	西舟付園地	"	2,500	"	展望台 208 m ² 案内板 2 基 指導標識 1 基 コンクリートテーブル 2 基 コンクリートベンチ 5 基	
民 間 事 業						
年度	施 設 名	場 所	事業費	事業主体	施 設 の 概 要	
52	浦内川線船舶運送施設	西表島	千円 一	合名会社 浦内川観光	小型船 6 隻 桟 橋 2 ヶ所	

別添5

西表国立公園利用者数

◎地区別利用者数

(昭和47年については4月～12月の集計)

島名 年	竹富島	西表島東部	西表島西部	小浜島	黒島	計
昭和47年	12,449人	6,006人	5,348人	3,727人	2,393人	29,923人
" 48年	30,981	11,628	9,443	5,705	4,141	61,898
" 49年	38,364	17,777	13,412	6,846	5,227	81,626
" 50年	52,354	19,248	15,598	6,288	4,539	98,027
" 51年	67,749	19,639	16,672	6,061	4,179	114,300
" 52年	76,436	26,775	24,487	6,103	4,400	138,201
" 53年	104,446	39,227	23,549	4,910	3,315	175,447
" 54年	95,775	39,364	24,538	13,991	6,797	180,465
" 55年	99,161	34,383	35,008	21,099	7,670	197,321
" 56年	81,600	34,869	38,035	26,012	8,392	188,908
" 57年	66,365	32,809	28,100	35,749	7,845	170,868

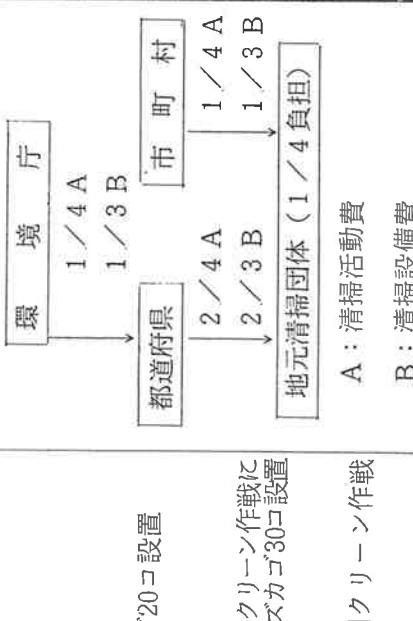
◎昭和57年月別利用者数

月 島名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
竹富島	3,746	3,930	7,763	5,579	5,525	5,514	6,585	8,484	4,314	5,294	6,206	3,425	66,365
西表島 東部	2,759	3,046	4,926	2,402	3,576	2,525	2,142	3,809	1,749	1,878	2,102	1,895	32,809
西表島 西部	1,762	2,021	4,103	2,352	2,049	2,012	2,797	3,900	1,430	2,028	2,422	1,224	28,100
小浜島	2,399	2,458	2,398	2,692	3,798	3,024	4,097	4,325	2,116	3,451	2,925	2,066	35,749
黒島	478	432	864	556	701	664	723	1,071	612	677	580	487	7,845
計	11,144	11,887	20,054	13,581	15,649	13,739	16,344	21,589	10,221	13,328	14,235	9,097	170,868

自然に親しむ運動等実施状況

地区名	行事名	年度	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	計	備考
竹富島	海の自然教室	人	293	273	人	153	171	人	167	131	人	174	人	1,772
	夜の集い	人	230	290	人	577	475	人	615	660	人	400	人	1,772
	海の親子学習会													58年度海の自然教室及び夜の集いは、黒島で海の自然教室及び夜の集いを開催することになったので期間を10日から5日に変更した。
黒島	海の自然教室													
	夜の集い													
西表島	黒島マリン・スクール													
	海の自然教室													
計		293	503	543	730	658	812	827	602	525	570	6,063		

「清掃活動費補助金」による清掃活動実施状況

年度	事業費 (千円)	清掃区域	清掃団体	延べ人員(人)	備考
50	2,400	竹富島、黒島、小浜島、西表島東部及び西部	西表国立公園を美しくする会	960	清掃活動補助には、清掃活動費及び清掃設備費がある。
※51	3,000	"	"	960	清掃活動費→直接事業費
※52	3,000	"	"	966	清掃設備費→ゴミ焼却炉等の附帯施設を設備
※53	3,000	"	"	488	※は、両事業費を含んでいる。それ以外は、清掃活動費のみである。
※54	3,000	"	"	492	(補助金の流れ)
55	2,400	"	"	504	
56	2,400	"	"	508	国立公園クリーン作戦に協力、クズカゴ30コ設置
57	2,400	"	"	508	国立公園クリーン作戦に協力

別添8

オニヒトデ駆除実績

年度	捕獲数(匹)	捕獲に当たった延人数(人)	捕獲日数(日)	事業費(千円)	備考
49	14,264	218	23	2,880	
50	21,150	464	48	5,274	
51	10,596	429	50	5,274	
52	15,196	408	47	5,084	
53	84,981	502	44	6,698	
54	39,144	514	45	9,448	
55	124,035	428	40	8,503	
56	515,750	900	72	16,664	
57	269,705	714	34	14,210	
計	1,094,821	4,577	403	74,035	

別添9

イリオモテヤマネコ給餌状況

年	東部地区		西部地区		合計		備考
	被食数 給餌回数	被食率 (%)	被食数 給餌回数	被食率 (%)	被食数 給餌回数	被食率 (%)	
54	19 74	25.7	23.5 66	35.6	42.5 140	30.4	54/10~54/12
55	233.5 319	73.2	201.5 316	63.8	43.5 635	68.5	55/1~55/12
56	282.5 419	67.4	240 397	60.5	522.5 816	64.0	56/1~56/12
57	347 475	73.1	302 416	72.6	649 891	72.8	57/1~57/12
58	380.5 474	80.3	443 448	98.9	823.5 922	89.3	58/1~58/12
計	1,262.5 1,761	71.7	1,210 1,643	73.6	2,472.5 3,404	72.6	

参考 1) 納餌は、3日に1回行っている。

2) 納餌ヶ所は、東部地区及び西部地区それぞれ5ヶ所である。(58年12月31日現在)

別添10 イリオモテヤマネコの事故状況

発見年月日	場 所	発見時の状況	処置状況等
S 41	古見後良川流域	猪猟中、犬がヤマネコを木に追いつめ、ヤマネコが木から落ちたところを犬がかみ殺した。（親盛長明談）	
43. 3	南風見田岳東方	猪ワナにかかって死んでいた。 (砂川情良談)	
45. 3	仲間川流域	ワナを仕掛けて生捕りにした。 (黒島 宏談)	
46. 2. 4	高那牧場付近	琉球大学附属熱帯農学研究施設で檻に入れて飼育	54. 3. 23 檻内で死亡していた。♀
46.	白浜一一番川田小屋	鶏小屋に侵入したヤマネコを射殺した。（橋本 談）	
52.	舟浮部落内	鶏小屋に侵入し、鶏5羽を食い殺したヤマネコを生捕りした。 (池田米三談)	飼育中老衰死亡、 琉大池原先生調査 骨格標本琉大保管
53.	星立近くの県道	午後8時頃、車の前にとび出して交通事故死した。（石垣金星談）	西表小中学校に剥製として保管
54. 6. 15	美原（南風田原）	14日午前6時30分頃、宮良長啓が原野にいる子ネコを発見。翌15日午前10時頃、同一場所で雨にずぶぬれになって弱っていたところを保護捕獲	沖縄こどもの国で現在も飼育中♂ 名は啓太
56. 1. 30	網 取	午前9時頃、犬にかまれたらしい、下半身傷だらけの成獣を東海大学西表分室の研究員が保護捕獲、高嶺正	剥製で高嶺正宏保管、成獣♂

発見年月日	場 所	発見時の状況	処置状況等
		宏が引き取ったが、同日午後3時頃死亡。	
56. 3. 10	クイラ川	カニ取り用の網カゴにかかって溺死していた。	剥製で離島センターバー保管、成獣♂
56. 11. 16	船浦北岸道路脇	車で頭をひかれたらしい個体を担当区主任が発見、体重1.1kg。	剥製で高嶺正宏保管、幼獣♀
57. 1. 30	美原集落（横田松三の鶏小屋）	鶏15羽をかみ殺し、人の接近でにげたが、イヌによって木に追い上げられ、捕獲。	同日、ユツン川下流に放つ。成獣♂
57. 2. 8	同 上	鶏10羽をかみ殺し、小屋内にいるところを捕獲、同上の同一個体と思われる。	同日、クイラ川河口に放つ。
57. 2. 26	高那の道路上	車にひかれて死亡したらしい個体を発見、体重1.8kg。	剥製で高嶺正宏保管、幼獣♂
57. 4. 8	租内（美田良の水用）	衰弱して動けなくなっている個体を崎山和明が保護捕獲。通事剛が引き取って鶏肉等を与え、元気回復。	4月11日、未明檻からにげた成獣♀
57. 9. 15	大富北西、灌木林内	衰弱して動けなくなっている個体を大田丈太郎が保護捕獲、ミルク、鶏肉等を与え、元気回復、体重1.2kg。	9月18日、同一場所に放つ。幼獣♀
58. 9. 30	高那道路上	車にひかれて死亡したらしい個体を土木作業員の下地発見、成獣になる直前の若い個体。	鹿大阿久沢、望月解剖、若い個体♂ 毛皮は沖縄県文化課が保管

発見年月日	場 所	発 見 時 の 状 況	処 置 状 況 等
58. 12. 28	上 原	<p>上原地区四軒（村田行、担当区池田、石垣、小寺）で9月から12月にかけてニワトリの被害を受けたため、12月28日石垣宅に仕かけた捕獲器にて捕獲。58年秋に捕獲、調査した個体（W-3 青色首輪、老令、体重3.9kg）と同一個体。歯はボロボロ。</p>	<p>新しい首輪（黒色）を取り付け、翌29日に西表東部南風見田給餌ポイントに放つ。 成獣老令♂</p>
59. 2. 29	浦内橋北方約600mの道路上	<p>14:30頃、衰弱して道路上にうづくまっている個体を親盛長明が発見し保護捕獲する。カンフル注射するが23:00死亡。3月1日、管理事務所を経由して琉大に送付。体重1.28kg</p>	<p>3月1日、琉大で解剖、栄養状態悪く大きな外傷なし骨にも異常なし。 資料保管、内臓、琉大医学部長谷川骨格、筋肉、琉大農学部川島、毛皮沖縄県文化課</p>

別添11 関係行政機関等

関 係 行 政 機 関 名	電 話
(国)	
熊本営林局計画課	096(328)3613
沖縄営林署	0988(68)8830
八重山営林事業所	09808(2)2173
沖縄総合開発事務局農林水産部	0988(66)0031
石垣港工事事務所	09808(2)4740
八重山宮古総合農業開発調査事務所	09808(2)4943
石垣海上保安部	09808(2)4841
海上保安本部石垣航空基地	09808(2)4848
石垣地方気象台	09808(2)2159
(県)	
沖縄県環境保健部自然保護課	0988(66)2243
八重山土木事務所	09808(2)2217
八重山農林土木事務所	09808(2)3049
八重山支庁農林水産課	09808(2)3043
沖縄県教育委員会文化課	0988(66)2731
八重山教育事務所	09808(2)3622
(市)	
石垣市役所（水産課）	09808(2)9911
石垣市教育委員会	09808(2)2604
石垣市立八重山博物館	09808(2)4712
(町)	
竹富町役場（経済課）	09808(2)6191
竹富町教育委員会	09808(2)8491

関係研究機関名	電話
琉球大学理学部生物学科、海洋学科	09889(5)2221
琉球大学熱帶海洋科学センター	09804(7)2888
” 農学部附属熱帶農学研究施設	09808(5)6560
東海大学沖縄地域研究センター	09808(5)6149
沖縄県水産試験所八重山支場	09808(8)2255
(財) 海中公園センター八重山海中公園研究所	09808(5)4341
太平洋資源開発研究所	09808(8)2124

関係団体名	電話
西表国立公園を美しくする会	竹富町経済課内 09808(2)6191
八重山観光協会	09808(2)2809
竹富町観光協会	09808(2)5445
八重山漁業協同組合	09808(2)2448
黒島ビジターセンター運営協議会	西表国立公園管理事務所内 09808(2)4768

別添12 西表国立公園内における貴重な動植物一覧

植物

特定植物群落	備考
◦小浜島東海岸のハスノハギリ群落	
◦西表古見岳一帯の原生林	
◦西表中部山地の原生林	
◦船浦のニッパヤシ	国指定天然記念物
◦浦内川のマングローブ林	
◦星立のヤエヤマヤシ並びにマングローブ林	国指定天然記念物
◦黒島の海岸植生	
◦西表古見のサキシマスオウノキ群落	国指定天然記念物
◦仲間川流域のマングローブ、サガリバナ等の湿生林	” ”
◦西表ウブンドルのヤエヤマヤシ群落	” ”
◦西表島南岸の植生	
◦内離島のニッパヤシ	

動 物

哺 乳 類 (在 来 種)	備 考	
◦ イリオモテヤマネコ ◦ リュウキュウイノシシ ◦ ヤエヤマオオコウモリ ◦ イシガキキクガシラコウモリ ◦ イシガキカグラコウモリ	国指定特別天然記念物	
鳥 類	特 殊 鳥 類	国指定天然記念物
(我国では八重山地方だけに生息する種)		
◦ カンムリワシ ◦ キンバト (リュウキュウキンバト) ◦ シロガシラ (ヤエヤマシロガシラ) ◦ オオクイナ ◦ ズグロミゾゴイ ◦ ムラサキサギ (一部本州に迷行)	◦ ○ ◦ ○ ◦ ○	◦ ○ ◦ ○
(その他)		
◦ アカヒゲ (ウスアカヒゲ) ◦ カラスバト (ヨナクニカラスバト) ◦ イイジマムシクイ ◦ コウノトリ (西表島、小浜島に飛来) (仲の神島 海鳥繁殖地) ◦ セグロアジサシ。クロアザサシ ◦ マミジロアジサシ。カツオドリ等の繁殖	◦ ○ ◦ ○ ◦ ○ ◦ ○	◦ ○ ◦ ○ ◦ ○ ◦ ○

両 生 類、は 虫 類	備 考
◦ セマルハコガメ ◦ アオウミガメ	国指定天然記念物
◦ キシノウエトカゲ	国指定天然記念物

淡 水 魚 類	
◦ タナゴモドキ (ハゼ科)	

昆 虫 類		
西表島固有種	◦ ヤエヤマハダカトンボ ◦ チビカワトンボ ◦ ヤエヤマサナエ ◦ タカラカタビロアメンボ ◦ ヤエヤマクマゼミ ◦ アサヒナキマダラセセリ (県指定天然記念物) ◦ リュウキュウハナダカジガバチモドキ ◦ ヨツモンオオアオコメツキ	◦ イリオモテミナミヤンマ ◦ イシガキヤンマ ◦ サキシマトンボ ◦ ヤエヤマニイニイ ◦ リュウキュウウスバカゲロウ ◦ イシガキカクムネベニボタル ◦ サキシママドボタル
西表島、石垣島 固有種		
八重山固有種	◦ イワサキヒメハルゼミ ◦ チャイロマルバネクワガタ ◦ アカアシセグロクマバチ	◦ ヤエヤマクビナガハンミョウ ◦ ヨナグニヒラタハナムグリ
八重山固有種	◦ サキシマヤンマ ◦ ホソアカトンボ	◦ キイロハラビロトンボ ◦ ヨナクニサン
八重山北限種	◦ イワサキゼミ ◦ ヤエヤマヒメボタル	◦ モンヘビトンボ
沖縄本島が北限 (石垣島、西表島に分布)	◦ コノハチョウ (県指定天然記念物)	

貴重な動植物一覧は下記を参考とした。

- ・第2回自然環境保全基礎調査（環境庁、1981）
- ・八重山野鳥の会10周年記念誌（1982）